



# あしつき



令和7年度 第6号 令和7年9月16日

## 読書が楽しくなるきっかけは？

教頭

右の表は、1学期末の学校評価の抜粋です。値は、肯定的評価の割合です。保護者の評価が低いということは、子供たちが家庭で本に触れる時間が少ないのではないかと思います。

	児童	保護者
進んで読書をしている	65%	31%

私は、小学校の中学年の頃に、1冊の「絵本」がきっかけで、読書好きになりました。物語が面白く、挿し絵を見ることも大変楽しかったのです。

世の中には、何百万冊という本があります。読書が好きではないという人は、自分が楽しく感じる本（ジャンル）に、まだ、出会っていないのではないのでしょうか。本は、待っているだけで会いに来てくれることはありません。人間の方から会いに行く必要があります。本に会いに行けば、きっと楽しい本が見つかるはずです。1回で出会うとは限りません。何度も何度も会いにいけば、きっと自分が「楽しい」と思える本（ジャンル）に出会うことができると思います。

自分で読書好きになる子もいますが、多くの読書好きの子は、家庭の影響を受けています。親がよく本を読んでいる、図書館や本屋へ連れて行っている、家にたくさん本があると、よく読書をするようです。

中田小学校には、約7,500冊の本があります。中田コミュニティセンター内の中田図書館には、約37,000冊の本があります。書店に行けば、さらにたくさん本が並んでいます。学校でも家庭でも、「子供と本との出会いの時間」をつかって、読書を楽しめる子供たちになってくれたら素敵だと思います。2学期は読書の秋。親子で読書、いかがでしょうか。

## 息を合わせてジャンプ！～4年生 大縄跳びで大盛り上がり～

4年担任

休み時間になると、なのはな広場から元気な声が聞こえてきます。4年生の子供たちが、大縄跳びに夢中になって跳んでいるのです。「1、2、3、4、5・・・」と数を数えながらタイミングよく跳んでいく姿は見事で、みんなの息がぴったり合っています。縄を回す子もとても上手で、跳ぶ子に合わせてスピードを調整するなど、協力しながら何回連続で跳べるかの記録に挑戦しています。みんなで一つの目標に向かって取り組む姿は圧巻です。

中には、ゆっくりとしたリズムで跳ぶチームもあります。メンバーを見て納得。2年生の姿がありました。4年生が優しく声をかけながら一緒に跳ぶ様子からは、思いやりの心と仲間を大切にする気持ちが伝わってきます。

休み時間の遊びの中にも、協力する力や人を思いやる心が育まれていることを感じ、とてもうれしく思います。4年生は学習発表会で運動表現にチャレンジします。みんなで息を合わせて、取り組んでいきたいと思ひます。

